

平成28年 2月10日
東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題 「アスパラガス産地振興プロジェクト」立ち上げ決定

(ダイジェスト)

2月5日に開催された、JAしまね出雲アスパラガス部会総会において、平成28年度事業として今後の産地振興と面積拡大を目指し「アスパラガス産地振興プロジェクト」の設立が決定されました。JAしまね出雲地区本部では、これまでぶどう等の果樹では「産地再生プロジェクト」を立ち上げ、リースハウス団地等の導入等により産地振興を進めていますが、野菜では初めての取り組みです。

平成27年度のJAしまね出雲地区本部のアスパラガスは栽培面積5.8ha（半数は施設栽培）、販売額約6,000万円（県販売額の約8割）の県下の産地となっています。

アスパラガスは平成28年度からJAしまねの県域集中振興品目に位置づけられ、出雲地区本部でも平成30年までに販売額一億円を目指し振興する計画となっています。

そこで、本年度の総会において産地振興と面積拡大を目指し、部会による「産地振興プロジェクト」の立ち上げが決定しました。

産地振興の重要な課題は、生産者の高齢化（約5割が70才以上）に対応した、新たな担い手の確保・育成と、アスパラガスは生産安定のため施設化を進めており、初期投資を抑えた生産施設の整備があげられます。

なお、担い手育成手法や団地化等の具体的な検討は、平成28年度から部会役員と関係機関等で実施することとなっています。

普及としましては、来年の普及計画にアスパラガスの産地再生を位置づけ重点的に支援することとしています。

